

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立循誘小学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和3年5月27日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

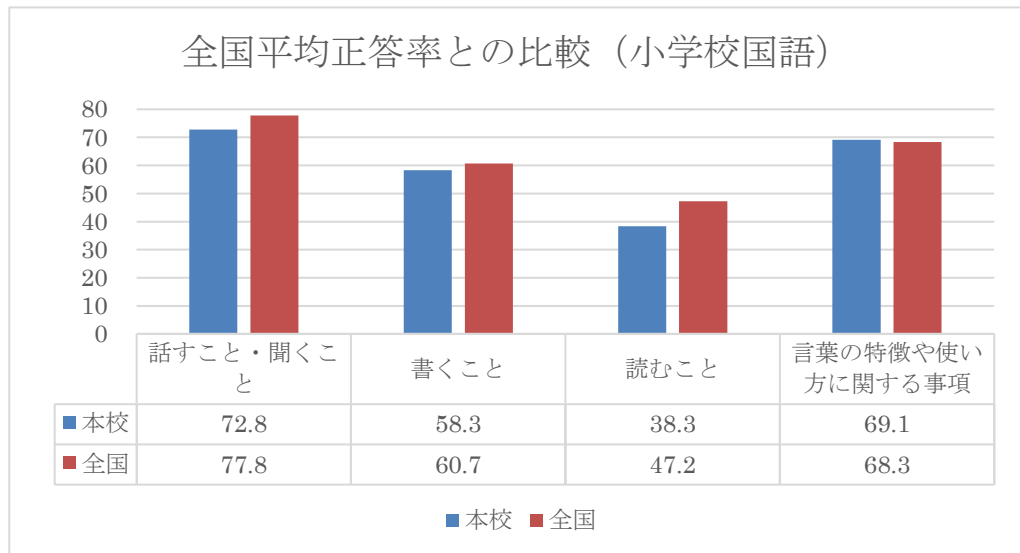
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

4領域のうち3領域で全国平均正答率を下回りましたが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均正答率を上回っています。記述式の問題は無解答率をみると、全国平均よりも高くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」が 0.8 ポイント上回りました。国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの内容領域の根幹をなす言葉の力であり、普段から、漢字や言葉の学習、音読などの成果が表れていると考えられます。課題は、問題形式の「記述式」の正答率を上げることです。選択式、短答式は全国平均正答率とほぼ同等ですが、記述式の正答率は全国平均より9.3ポイント下回っていました。児童の記述力を高めることが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の力を伸ばすことにつながります。単なる「知識」を問う問題ではなく、「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

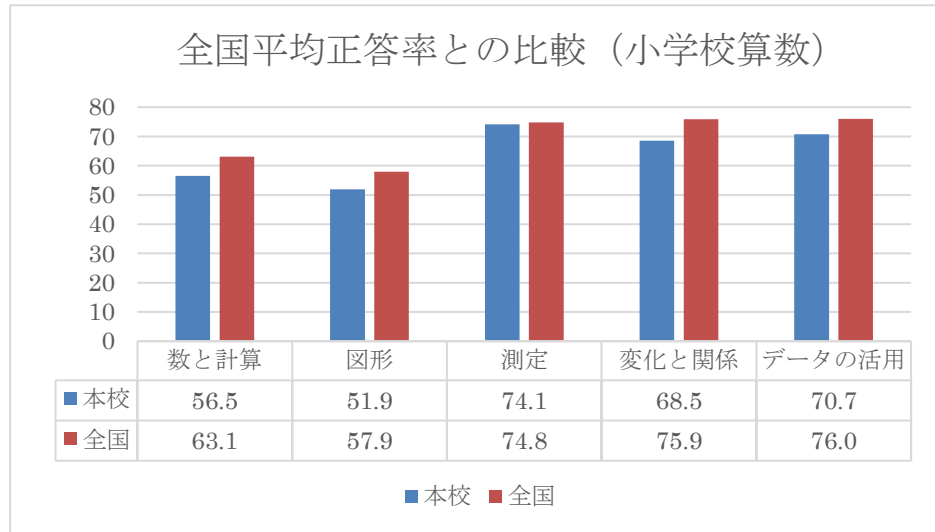
【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 言語活動を通じた授業づくりを心掛け、子どもたちが自分の言葉で表現する機会を多く設けるようにします。また、習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしていきたいと思います。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしていきたいと思います。いろいろな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。レインボー週間等を活用し、ご家庭で本を読む習慣をつけていただけたらと考えます。

2 算数



(1) 結果

全国平均正答率より下回る結果でした。「測定」の領域では全国平均正答率とほぼ同等となっています。また、選択式、短答式の問題での無解答率を見ると全国平均を上回っていますが、記述式の問題では全国平均より下回っています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「測定」の領域の条件に合う時刻を求める問題の正答率が全国平均正答率より0.7ポイント下回りましたが、ほぼ同等でした。他の「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」については全国平均正答率より5ポイント以上下回っていました。しかし「D データの活用」の領域の、棒グラフから数量や項目間の関係を読み取る問題の正答率は96.3%で、全国平均正答率を上回っていました。設問1(2)のような道のりと時間の関係について計算することはできるものの、設問1(3)のような除法の式と商の意味を理解することは苦手としているなど、技能は身に付いていても式理解は進んでいないことが分かりました。複数の三角形を組み合わせた平行四辺形の面積を求める問題や小数を用いた倍についての解釈を、他の数値を適用して求める問題が全国平均正答率を9ポイントほど下回るなど、問題形式の「記述式」の問題でも課題が見られました。

日々の授業で説明する活動、書く活動を継続して取り入れ、記述した内容を確認させることが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 問題を自分事にするために子どもたちの「問い」を大切にし、学習の目標を設定していきます。
- 式から答えを出すだけでなく、計算の方法を考え、交流する場面を設定します。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- スキルタイムを活用し、既習事項の補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、励ましや称賛の言葉をたくさんかけてください。
- 「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせるために、生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	63.0%	86.8%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	27.8%	38.3%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	53.7%	55.0%
自分にはよいところがあると思いますか。	29.6%	33.9%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	27.8%	24.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	75.9%	75.4%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	77.8%	84.1%

朝食・起床・就寝については全国平均を下回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校が協力して、習慣化していきましょう。

挑戦心や社会貢献の項目については、肯定的な回答をした児童は全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	27.8%	31.2%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	9.3%	11.6%
「2時間以上、3時間より少ない」	7.4%	15.3%
「1時間以上、2時間より少ない」	27.8%	35.6%
「30分以上、1時間より少ない」	35.2%	24.5%
「30分より少ない」	14.8%	9.5%
「全くしない」	5.6%	3.5%

家庭学習については、自分で計画を立てて学習する児童が全国平均より下回っていました。また、1時間未満の児童が5割以上おり、中には全く家庭学習をしていない児童もいました。かなり個人差が見られるので、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習（自学）についても中高学年で取り組み、手本になる自学ノートを掲示して定着しつつあります。これから全学年にも少しずつ広げていきます。
- 始業前（8：00～8：15）の朝読書を推奨したり、図書委員を中心に読書イベントをしたり、ボランティアによる読み聞かせをしたりするなど、読書の機会を増やすための工夫をしています。効果が現れてきているので、これからも継続していきます。

【ご家庭では】

- 上記の項目は、改善を図ろうと「レインボー週間カード」でも取り上げている項目です。「レインボー週間」だけでなく、規則正しい生活と家庭学習を定着させることは、極めて大切なことです。お子さんが自分からできたとき、少しでも向上したときを逃さず、褒めることで意識が更に高まります。
- 「家庭学習の手引き」をご覧になり、学習時間のめやすや、自主学習の説明を参考に、自分で決めて学習できるように励ましてください。